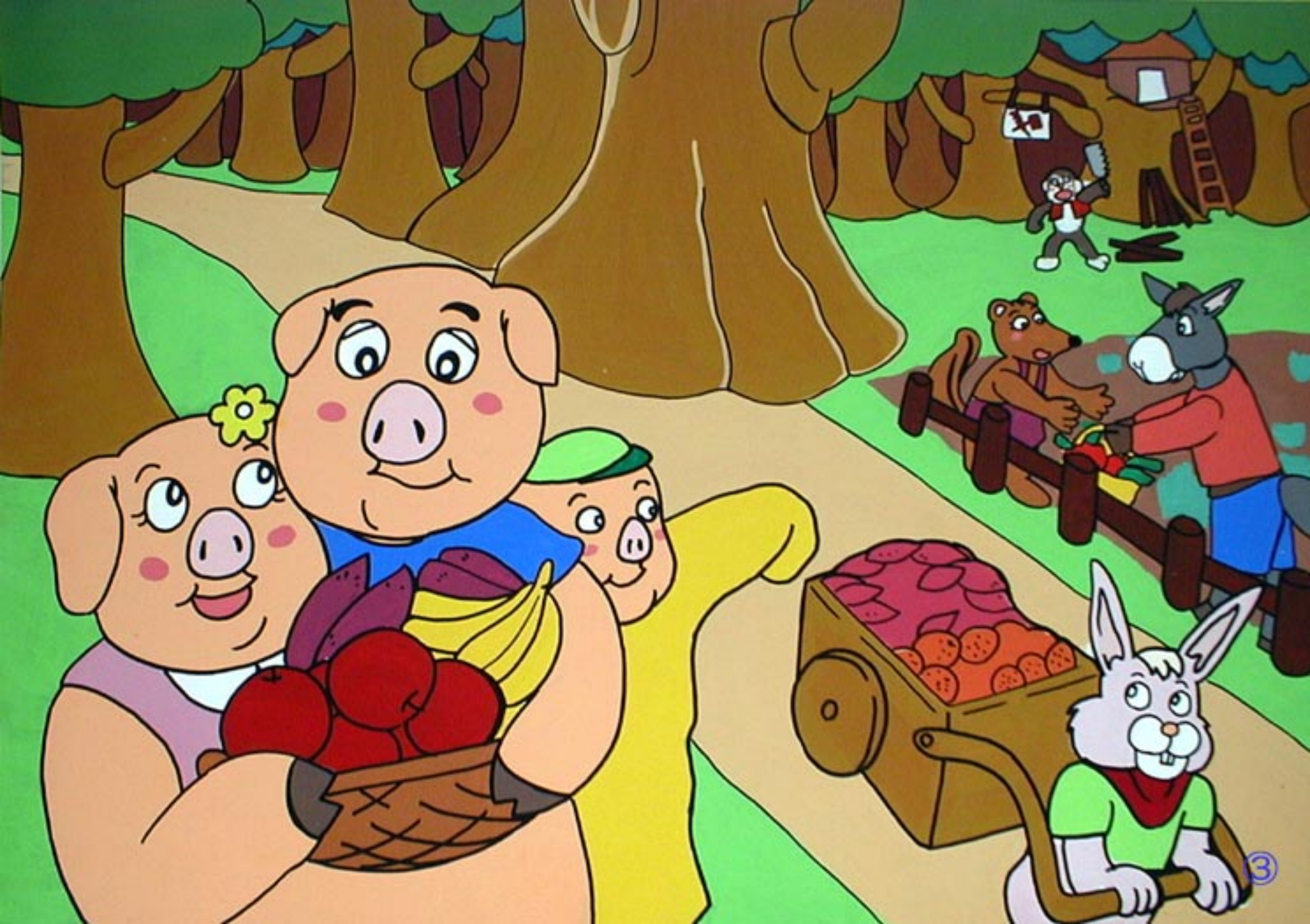




ものがたり

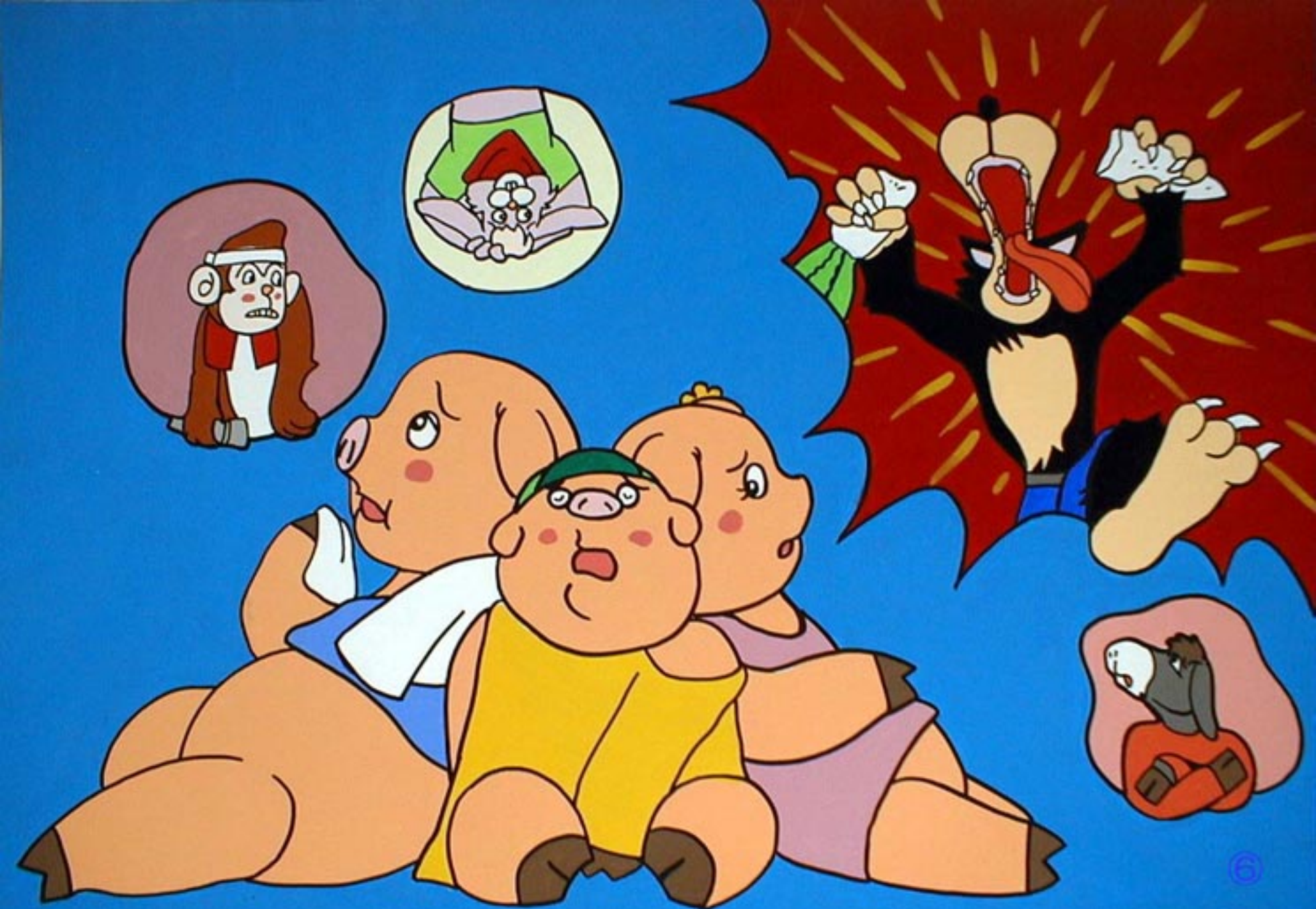








立木

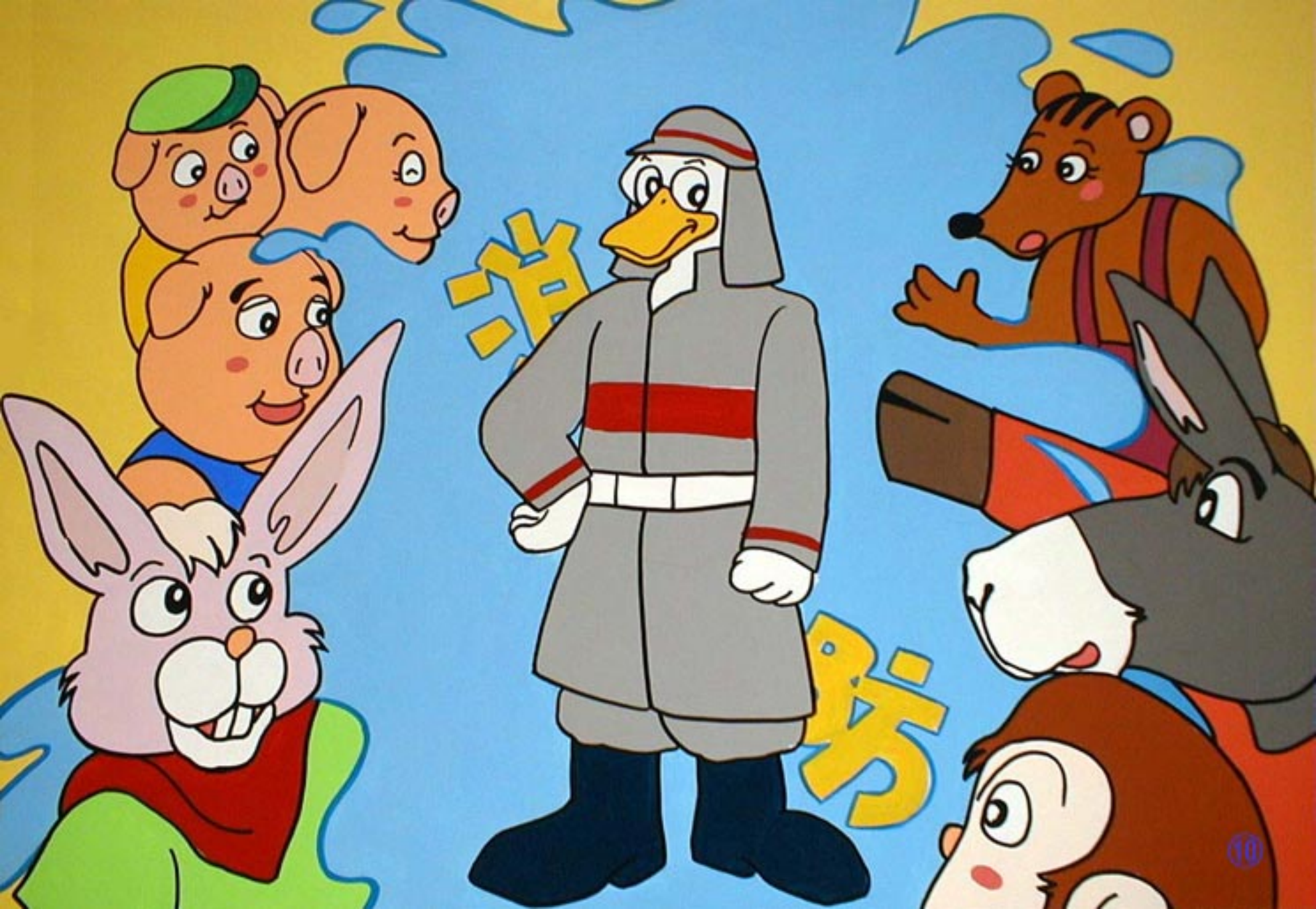












火の用心

消防















# 『ダナの森』ものがたり

点線で切り取り、各場面の裏に張ってお使い下さい。

『ダナの森』ものがたり

---

3匹のぶた、さる、りす、うさぎとロバは、平和なダナの森の住人。

---

ダナの森に住む動物たちは、大工さんをして畑で作物を作り、隣の森に売るなどの商売をしていました。

---

そんな平和なダナの森にも、困ったことがあります。近くに住むオオカミが、夜な夜な森に来ては、畑を荒らしたり家を潰したりと悪さをします。

---

ダナの森の動物たちは、自分の畑に柵を作ったり、夜に見回りをするなど、作物が食い荒らされないように、みんな、ばらばらで自分たちの商売を守っていました。

---

でも、悪賢いオオカミは柵なんてへともせず悪さを繰り返すし、みんな昼間は商売、夜は見回りで疲れてきました。

---

そこで、ダナの森のみんなは、集まって相談をしました。いいアイデアがないかみんなで考えていたとき、ぶたの3兄弟が提案しました。「みんなでお金を出し合って、犬のお巡りさんを雇い、みんなの森を守ってもらう！」みんなは大賛成で、犬のお巡りさんを雇うことにしました。

犬のお巡りさんの大活躍で、オオカミは悪さをしなくなり、ダナの森に平和な日が戻ってきました。

---

ある日曜の朝、さるの火の不始末から、ダナの森で火事が起こりました。みんなは、協力して消火にあたり、大惨事にはなりませんでした。

---

消火活動のあとで、うさぎが言いました。「今日は日曜の朝でみんなが家にいたから良かったけど、昼間みんなが商売でいなかったら、森は大変なことになっていたんじゃない？」ロバが言いました。「みんなの出し合うお金で、あひるの消防士を雇おう。」みんなは大賛成で、あひるの消防士を雇いました。

---

ダナの森は、悪さをする動物もなく火事になることもなく、平和で商売繁盛な森となりました。

---

商売が繁盛するほど、今度はゴミがたくさんでるようになり、ダナの森の環境が少しづつ汚れてきました。

---

みんなが出すゴミの処理も、掃除当番を決めてきれいにしていたものの、商売もいそがしく、すべてをきれいにすることが難しくなってきました。

---

また、みんなは集まって相談しました。そして、森をきれいにし、環境を守ってくれるひつじさんを雇うことにしました。そうじのひつじさんの提案で、決められた日に、決められた種類ごとのゴミを出すなど、ダナの森は見る見るきれいな住みやすく、きれいな森へと変身しました。当然、このひつじさんを雇う給料も、みんなが出し合うお金で払っています。

---

このように、ダナの森は、みなさんが住んでいる町と同じように、お巡りさんがいたり、消防署があったり、ゴミを処理してくれるひとがいます。これらの、みんなが住みよい町を作るためのお金、つまり費用は、そこに住んでいる人たちが出し合っているのです。みんなで一緒に考えて、少しでも住みよい町を作ろうとしているのです。

---

この先、ダナの森では、学校もでき、病院もでき、もっと住みやすく、サービス満点の森に変身することでしょう。森に住む動物が年をとったときには老人ホームもできるかもしれません。みんなが、豊かで安心して住める森にするために、みんなはお金を出し合って、工夫していくことでしょう。

このみんなが出し合っているお金が、人間の世界では、税金と呼ばれています。そして、みんなの代表者が集まって、このみんなで出し合ったお金(税金)を、なお一層、住みよい町を作るために使うことを考えているのです。

税金は、みんなが豊かで安心してくらしに行くために、必要で、みんなが共同で出し合っている会費なのです。